

3/ 3

(月)

弟子に求められる献身

ルカによる福音書一四章25〜35節

誰でも、私のもとに来ていながら、父、母、妻、子、兄弟、姉妹、さらに自分の命さえも憎まない者があれば、その人は私の弟子ではありえない。(26)

主イエスの弟子になろうとする者たちに、どのような覚悟が必要であるかを主は語られました。それは愛する家族をも捨てる決意が必要であると。とても受け入れられないような厳しい言葉です。著者ルカがこれを書き記した当時の教会は、迫害のゆえに家族を取るかそれともキリストを取るかという選択を強いられていたようです。多くの人々は、そこまでしようとは思わないと言って信仰から離れて行きました。キリストに従うということは、自分の家族や財産などと比較にならないほどの絶大な価値（フィリピ三8）を認めることです。キリストの恵みの豊かさはマイナスを補って余りあるのです。キリストに自らを献げ、全てを任せて生きる人生ははるかに豊かな人生です。だからこそ、及び腰の中途半端な従い方ではなく、一切を私にかけて生きてごらんと主は私たちを招いておられます。